

# 第1回 魚津市地域クラブ推進協議会

8月28日(木)19:00～

1 開会あいさつ

2 報告・協議事項

(1)地域クラブ活動の現状

・生徒の加入状況等

・推進体制

・指導者の登録状況等

・教員の時間外勤務時間

・生徒アンケート結果

・各クラブからの報告 等

(2)国の動向

・最終とりまとめ

・クラブ認定 費用負担

(3)今後の取組

・R7 予算

・地域展開進捗状況

・R7 スケジュール

・課題への対応

3 その他

4 閉会

# 資料目次

・部活動の加入状況	…3
・地域クラブの加入状況	…4
・推進体制・検討組織	…5
・指導者について	…7
登録 謝金等 研修 資格	
・保護者負担金について	…8
納付方法 減免制度	
・教員の時間外勤務の状況	…9
・活動概要一覧	…10

・国の動向 最終とりまとめ	…11
別紙 クラブ認定 費用負担	
・地域展開に向けた進捗等	…13
・R8の目標(R6推進協議会資料)	…14
・R7 年間スケジュール案	…16
推進協議会等の計画	
・課題について	…18
地域クラブの周知 費用負担	

## 別添資料

- ①R7 生徒アンケート結果
- ②国 「協力者会議」資料
- ③R7 予算関係資料
- ④消耗品費について

# R7 部活動の加入状況 5/1現在 全816名(R6 866名)

	運動部	文化部	不参加
R7	458名 <b>56.1%</b> 男 64.3% 女 48.3%	180名 <b>22.1%</b> 男 11.5% 女 32.2%	178名 <b>21.8%</b> 男 24.3% 女 19.5%
R6	<b>60.5%</b> 男 69.0% 女 52.2%	<b>23.2%</b> 男 13.5% 女 32.7%	<b>16.3%</b> 男 17.5% 女 15.1%
R5	<b>66.8%</b> 男 71.7% 女 61.9%	<b>22.2%</b> 男 13.6% 女 30.9%	<b>11.0%</b> 男 14.7% 女 7.2%

R6運動部加入率 全国 **54.9%** (男 62.6% 女 46.8%) 日本中学校体育連盟HP掲載資料より算出

# 地域クラブの加入状況 6月現在

◎市が運営する地域クラブ(9競技) R7 市内111名(市外7名) 計118名

(R6 市内147名(市外2名) 計149名)

○学年別 1年…25名(2名) 2年…32名(3名) 3年…54名(2名)

○学校別 西部中…36名 東部中…75名 早月中…3名 清明・明峰・滑川・雄山…各1名

○競技別 水泳… 1名 サッカー…29名 ラグビー…7名(1名) 柔道…9名

剣道…17名 バドミントン…16名 陸上競技…3名

バレーボール…23名(6名) 卓球…6名

市地域クラブ加入割合…全生徒の 13.6 %

◎スポーツ協会が運営する総合型地域スポーツクラブ(スポラ)

○MT.SUPOLA(陸上) 30名(2名)

○魚津ジュニアバドミントン 29名

○魚津スイミングクラブ 3名

○UOZU SUPOLA JTC(卓球) 5名

○サンディーズ(チアリーディング) 5名(2名) 計 市内74名(市外4名)計78名

東西中学校 約180名 の生徒が市内地域クラブで活動 → 全生徒の2割程度<sub>4</sub>

# R7 魚津市地域クラブ推進体制 役割分担

R7予算  
委託費  
850万円  
国・市(県) …8割強  
保護者負担…2割弱

市教育委員会

運営主体 (事務局)

市スポーツ協会

- スポーツ係 (文化係)
- 予算管理
  - 県とのやり取り(実証事業)
  - 保護者負担金等の徴収
  - 研修の推進(県教委実施)
  - 相談窓口
  - 施設管理
  - 競技団体との連絡調整

- 学校教育係
- 全体計画
  - 調査 ○推進協議会
  - 承認事項への対応
  - 保護者説明会企画
  - ガイドライン見直し
  - 周知・広報
  - 学校との連絡調整

情報共有  
共同事務  
相談窓口

- 生徒加入手続き
- 保険加入手続き
- 指導者謝金支払い等の会計業務
- 周知・広報
- 保護者説明会運営
- 地域展開の試行推進
- 競技団体との連絡調整

- 指導者謝金・交通費  
約755万
- うおづスポラ  
クラブ・教室の運営
- スポーツ少年団  
との連携

- 学校
- 生徒への周知協力
  - 活動場所の利用調整
  - 部活動の運営

地域クラブ

実施主体

- 地域クラブの運営・競技指導
- 緊急時の対応
- 出欠管理
- 学校顧問との情報共有 など

- 陸上競技 バレーボール バドミントン 水泳 サッカー  
ラグビー 柔道 剣道 卓球

- PTA
- 市P連理事会等での報告

- 企業
- 応援企業登録制度の周知

準備委員会

検討組織

推進協議会

仮 吹奏楽準備委員会

- 事務局内及び学校との合意形成 情報共有 意見聴取

- 事務局と競技団体、PTA、企業等との合意形成 情報共有 意見聴取

- 事務局と指導者、関係団体、学校との合意形成 情報共有 意見聴取

# R7 検討組織

## ○事務局会議(随時連絡)

→スポーツ協会 市教委

情報交換 方針検討 問題共有

## ○準備委員会(年4回程度)

→中体連会長 スポーツ協会

市教委

推進協議会の原案検討 等

## ○その他

競技ごとの打合せ 代表者会議

校長との懇談

県教委の情報交換会 等

## ○推進協議会(年2回)

→競技団体代表 13競技(オブザーバー参加可)

中学校長 市P連代表(小 中) 企業代表(商工会議所)

事務局【スポーツ協会 市教委】

部活動の地域展開に係る方針 スケジュール 推進体制

運営方法 成果と課題 等の検討 国・県の動向共有

## ○会議に係る謝金

(推進協議会 代表者会議 大会運営に係る会議 等)

→謝金(1h 1,600円 指導者謝金と同額)

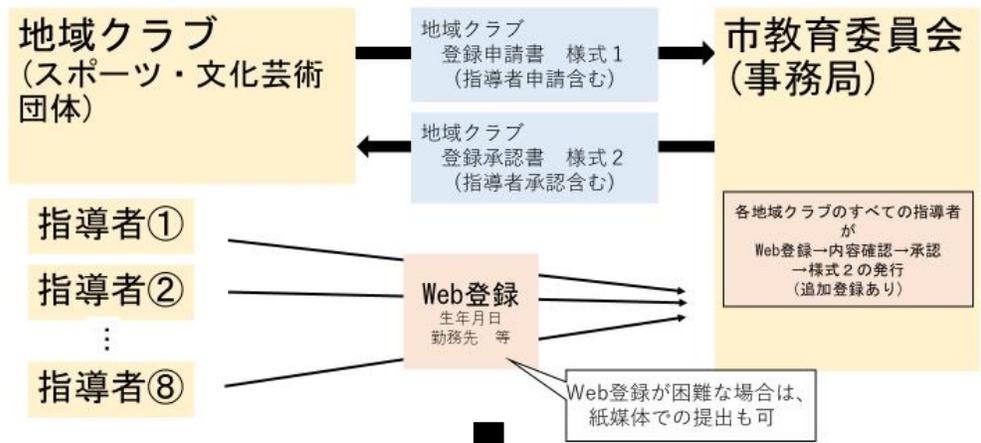
指導者謝金の支払いに合わせて振込

# R7 指導者について

## 登録

協会等からの推薦 18歳以上  
部活動指導員やエキスパートと兼務可

### 地域クラブ登録申請及び指導者登録の流れ



## 資格

指導者資格取得を推奨→補助額 10,000円

○指導者資格…JSPO公認スポーツ指導者  
スタートコーチ コーチ1 2 など  
※審判資格や段位取得は対象外  
**有資格指導者 31名/65名 全体の約5割**  
(有資格指導者のいないクラブ→R7取得予定)

資質向上の  
機会

## 研修

市教委担当 県教委との連携

○研修受講の原則 ※同内容の研修を受講した場合  
**2年間で県教委主催の研修①②受講必須** →免除あり(要連絡)  
R6 ①コンプライアンス35名 ②救命講習18名(有資格3名)受講

## 謝金・交通費

スポーツ協会 担当 支給年3~4回

○謝金…1時間 1600円 実績簿30分単位で報告  
練習 土日…3時間まで 平日…2時間まで  
公式大会等の場合 別途取り決め  
○交通費…一律 1回 300円  
市外への練習試合・大会等の交通費 上限 1200円と設定

	水泳	サッカー	ラグビー	柔道	剣道	バドミントン	陸上競技	バレーボール	卓球	計
登録指導者数	5	6	6	6	13	10	5	9	5	65
教員数(内数)		2	1	2	1	1				7

指導者登録…市教委担当  
生徒加入登録…スポーツ協会担当

# R7 保護者負担金について

市教委担当

受益者負担を原則として R6から参加費を徴収  
公費(国・県・市):私費(保護者) 予算ベースでは **約 6:1**

【保険代】 年額800円

【参加費】 **指導者謝金の一部に充当**(登録費、消耗品費等はクラブごと)

○基本額 → 活動頻度で設定 R5保護者アンケートを参考に金額設定

・週1回(土日) …月**1000円**

・週2～3回(土日+平日) …月**1500円**

○支払い→原則年2回  
市教委から納付書送付  
→市の会計に

R6 保護者アンケートより  
参加費について  
**おおむね妥当…86.5%**

R7 …継続

## 参加費の減免

○経済的な事情により地域クラブへの  
**参加機会を失うことのないように減免制度**を  
設ける

○対象: **就学援助認定世帯**

↓ 電子申請

**参加費の1/2 減免**

↓

納付書に反映

例 年 参加費 9000円

→ 4500円

R7実績…7世帯  
合計 42,750円

年2回に分けて徴収

8月…4～9月までの参加費(1年生 5月～9月)+ 保険代 800円

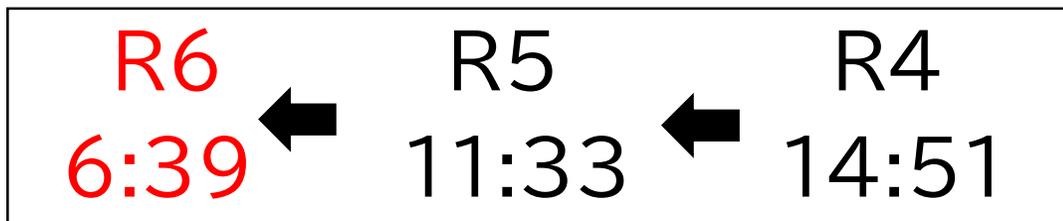
1月…10月～3月までの参加費

※3年生の活動予定の調査 → 個別に対応

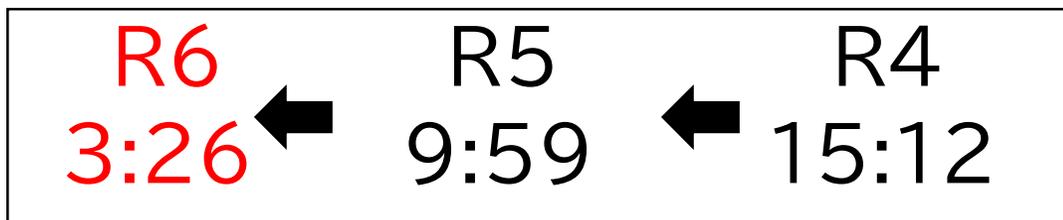
# 教員の時間外勤務時間

## 1月あたりの休日の時間外

○全教員 平均 (運動部 文化部 の 全顧問)



○(地域クラブのある) 8競技の顧問



## 中学校教員の時間外勤務時間



- 事業のR6の**成果指標**の一つ  
目標…休日の時間外10時間未満に  
→ **達成**
- 教員全体 **平日**の時間外も**減少**
- 該当競技の顧問 **減少が顕著**

1月あたりの時間外  
現行 国指針 **上限45時間** > R6市平均



法律の改正  
国R11までに**月30時間程度**に削減するよう  
求めている

# 魚津市地域クラブ R7活動概要

クラブ名	種目	実施回数	実施曜日・時間帯	実施期間	活動場所	生徒指導者	参加費(/月)	大会参加	備考
魚津スイミングクラブ	水泳	週1回	土曜 18:00~20:00	4月~3月	市室内温水プール	1人 5人	1000円	部活動(特設部)	スポラ 魚津スイミングクラブ 週3回
KSS UOZU-15	サッカー	週3回	火曜 木曜 18:00~20:00 土or日曜 午前or午後	4月~3月	東部中 西部中 グラウンド	29人 6人	1500円	地域クラブ	
魚津RFCジュニア	ラグビー	週2回	火or木曜 19:00~20:30 土or日曜 午前or午後	4月~3月	西部中 グラウンド 体育館	8人 6人	1500円	中体連の大会なし 富山選抜チーム	
魚津柔道クラブ	柔道	週1回	土曜 9:00~ 11:00	4月~3月	東部中 武道場	9人 6人	1000円	部活動	
魚津剣道会	剣道	週1回	土曜 18:00~19:30	4月~3月	旧大町小 体育館	17人 13人	1000円	地域クラブ	R7から地域クラブで大会参加
魚津市バドミントンクラブ	バドミントン	週1回	土or日曜 午前or午後	4月~3月	東部中 西部中 体育館	16人 10人	1000円	部活動	スポラ 魚津ジュニアバドミントン 週5回 クラブで大会出場 スポラ バドミントン教室 週1回
MT.SUPOLA	陸上競技	週1回	土曜 9:00~12:00	4月~11月	桃山陸上競技場	3人 5人	1000円	部活動	スポラ MT.SUPOLA 週4回 クラブで大会出場
ファンバレーボールトヤマ	バレーボール	週3回	月曜 水曜 19:00~21:00 土or日曜 午前or午後	4月~3月	旧村木小 東部中 西部中 体育館	29人 9人	1500円	地域クラブ	
魚津卓球クラブ	卓球	週1回 +月2回	金曜 18:00~19:00 土日曜 午前 月2回	5月~3月	西部中 体育館 ありそドーム	6人 5人	1000円	部活動	スポラ UOZUSUPOLA.JTC Aクラス週4回 Bクラス週2回

※下記の内容は、公立中学校等の生徒を主な対象としたもの

## 1. 改革の理念及び基本的な考え方等

### 改革の目的

#### (1) 改革の理念

- 急激な少子化が進む中でも、**将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実**するのが改革の主目的。  
※改革を実現するための手法を考える際には、**学校における働き方改革の推進を図ることや良質な指導等を実現することについても考慮。**
- 学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、**地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障。**
- スポーツ基本法、文化芸術基本法で、地方公共団体による「地方スポーツ推進計画」、「地方文化芸術推進基本計画」の策定が努力義務とされていることも踏まえ、各地域においてスポーツ・文化芸術施策を総合的に推進する中で、部活動改革も計画的に進められることを期待。

#### (2) 地域クラブ活動の在り方

- 地域クラブ活動においては、**学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出**することが重要。  
＜新たな価値の例＞  
生徒のニーズに応じた多種多様な体験（1つの競技種目等に専念しないマルチスポーツや、スポーツと文化芸術の融合、レクリエーション的な活動等を含む）、生徒の個性・得意分野等の尊重、学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出、地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流、適切な指導者による良質な指導、学校段階にとられない継続的な活動（引退のない継続的な活動）及び地域クラブの指導者による一貫的な指導
- 地域クラブ活動の具体的な実施形態や活動内容等は多様な形があり得る。地域の実情等にあった望ましい在り方を見出していくことが重要。
- 民間のクラブチーム等との区別や質の担保等の観点から、**国として、地域クラブ活動の定義・要件や認定方法等を示した上で、地方公共団体において認定を行う仕組みを構築**していく必要。

#### (3) 地域全体で連携して行う取組の名称（「地域移行」の名称変更等）

- 上記の理念や地域クラブ活動の在り方等をより的確に表すため、**「地域移行」という名称は、「地域展開」に変更。**  
【コンセプト】①学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていく。 + ②新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とする。  
※学校部活動から地域クラブ活動に転換した場合であっても、地域クラブ活動の実施に当たって、学校施設の活用等、学校との連携は図る必要。

#### (4) 改革を進めるに当たっての基本的な考え方

- 上記の理念等を幅広い関係者で共有しながら地域展開等に取り組むこと。 ● 具体的手法は**地域の実情等に応じた多様な選択肢を認める**こと。
- 活動の場を増やすだけでなく、活動内容の質的向上も図ること。 ● 対面とデジタルを最適に組み合わせるなど新たな手段も最大限活用すること。
- **受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方を検討し、国・都道府県・市区町村が支え合いながら適切な支援を行うこと。**
- 障害のある子供や運動が苦手な子供等を含め、多様な子供が希望に応じて安心して活動に参加できる環境を整備することが重要であること。
- 地方公共団体等において、地域クラブ活動に関する情報を整理・集約し、学校と連携して、**生徒・保護者にきめ細かな情報提供等を行うこと。** 1

### 最終とりまとめ

↓  
改革推進期間(R5~7)後の  
R8以降の方向性を示すもの

地域クラブの価値=よさ  
→生徒・保護者等 関係者に周知

国が示す  
地域クラブの定義・要件  
(別紙)

↓  
市で認定する仕組みの構築

名称変更  
地域移行 → 地域展開

### 基本的な考え方

- 多様な選択肢
- 費用負担…国・県・市が支え合う
- きめ細かな情報提供

## 2. 改革推進期間の成果と課題

- 令和5年度から「改革推進期間」がスタートし、国の実証事業等を通じて、地方公共団体による取組が着実に進捗。既に休日の地域展開を進めている地方公共団体等も存在しており、今後も更に改革が進捗していく見込み。
- 地方公共団体の創意工夫により、地域の実情に応じた運営形態のモデルや指導者確保等の課題の解決に向けた方策等も見出されている。
- 他方、改革途上にある地方公共団体等も多い。これまでの改革の歩みを止めず、より一層の改革を進めていくことが必要。そのためにも、国において実証事業等の成果と課題の整理・分析を行い、課題の解決方策等も明らかにし、広く普及していくことが重要。

## 3. 今後の改革の方向性

- 地方公共団体が幅広い関係者の理解と協力の下、平日・休日を通じた活動を包括的に企画・調整し、多様な選択肢の中から地域の実情等にあつた望ましい在り方を見出し、改革の方針を決定することが重要（生徒・保護者等への丁寧な説明も必要）。  
※休日の地域展開とともに、平日の地域展開もあわせて、できるところから取り組むことなどもあり得る。

改革の進め方	<p>・休日については、次期改革期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。 ※地域の実情等を踏まえつつ、できる限り前倒しでの実現を目指すことが望ましい。 ※中山間地域や離島など特殊な事情により地域展開に困難が伴う場合等には、国としても、さめ細かなリポートを通じて地域展開を後押し。それでも地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を適切に実施。</p> <p>・平日については、各種課題を解決しつつ更なる改革を推進。まずは、国において、地方公共団体が実現可能な活動の在り方や課題への対応策の検証等を行うとともに、地方公共団体において地域の実情等に応じた取組を進める。</p>
次期改革期間	<p>「改革実行期間」（前期：令和8～10年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和11～13年度） ※現時点で着手していない地方公共団体においても、前期の間に確実に休日の地域展開等に着手。 ※平日の改革については、前期において活動の在り方や課題への対応策等の検証を行った上で、中間評価の段階で改めて取組方針を定め、更なる改革を推進。</p>
費用負担の在り方等	<p>・地方公共団体において、地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方等を検討する必要（公的負担については国・都道府県・市区町村で支え合うことが重要）。 ※受益者負担の水準については、国において金額の目安等を示すことを検討する必要。</p> <p>・企業版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングをはじめとした寄附等の活用等、新たな財源の確保も有効に組み合わせていくことが重要。</p> <p>・家庭の経済格差が生徒の体験格差につながることをないよう、経済的に困窮する世帯の生徒への支援については確実に措置を行う必要。</p> <p>・部活動指導員の配置について、次期改革期間においても一定の範囲で支援を行っていく必要。</p>

## 今後の方向性

今後一層の改革を進める

平日・休日を通じた活動  
↓  
平日の地域展開もあわせて  
できるところから

改革実行期間 6年間  
〔前期 R8～10〕  
〔後期 R11～13〕

①この間に 全ての学校部活動の  
休日の地域展開を達成



魚津市…R8の新チーム発足時まで  
全ての運動部活動の地域展開を達成する  
→ 全保護者に通知(R7.2)

②平日の地域展開 地域の実情  
に応じた取組

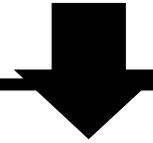
③受益者負担の水準  
国が金額の目安を示す(別紙)  
↓  
国の水準を参考に市の受益者負担の在り方、公的負担とのバランス等の費用負担の在り方を検討

# 地域展開に向けた進捗状況

競技	進捗状況
野球	5/23(金)第1回準備委員会 7/14(月)第2回準備委員会 指導者の代表 決定 <b>スポラ教室(ゴールドウイン)実施予定</b> 今後…指導者確保 曜日、場所の検討 <b>R8 4月 クラブ発足</b> (新1年+東部新2.3年 ※西部新2年夏合流) 休日+平日2回程度の活動想定 中体連へのクラブ登録申請(12~2月) <b>クラブチームとして大会参加</b>
ソフトボール	R6 新川地区新人大会なし R7 新川地区大会なし R7 西部中…廃部 ↓ 東部中…新入生4名 計11名→「岩瀬レッドレイルズ」クラブで富山市地区大会参加 → 県選手権大会優勝 → 北信越大会出場 1.2年9名 新人戦未定 <b>次年度 休日クラブチームとして活動 大会参加?</b>
ソフトテニス	8/6(水)第1回準備委員会 土曜の <b>スポラ教室(ゴールドウイン)</b> と水曜の <b>西部中での教室</b> → そのまま地域クラブに <b>R8 4月 クラブ発足</b> 水曜の夜(西部中) 土曜の夜(桃山) <b>週2回の活動</b> 大会への参加 → 当面は学校部活動として参加予定
バスケットボール	6/25(水)女子バスケ懇談会 7/2(水)男子バスケ懇談会 R7 新体制から <b>スポラ教室(ゴールドウイン)開始</b> →男女別 東西合同の活動 試行 男子…水曜日 ありそドーム <b>8/6~</b> 指導者…教員 元教員 部活動指導員 女子…休日 中学体育館 <b>7/5~</b> 指導者…教員 元部活動指導員 <b>R8 4月 クラブ発足に向けて調整</b>

## ○今後の部活動の地域移行(地域展開)の目標

令和8年度中にすべての運動部活動で休日の地域移行(地域展開)の達成を目指す  
達成状況に伴い、**原則 休日の運動部活動は実施しない**



- ・より持続可能な運営を図るため、「総合的地域スポーツクラブ うおづスポラ」との連携強化を図る
- ・市内でクラブ設立が困難な競技については、近隣の既存クラブと連携を図る
- ・「8年度中」とあるのは、**3年生が引退した後の新チーム発足後**のタイミングを想定
- ・推進協議会後に、関係者並びに**小中学校の全保護者に通知**
- ・大会前に限り、学校の判断で数回程度の練習、練習試合等は可とする
- ・**吹奏楽→当面は地域連携**(両中学校に部活動指導員配置)で対応

# 地域移行(地域展開) の 予定案

## 令和8年度

○年度中(新チーム発足時まで)に  
すべての運動部活動で休日の地域移行(地域  
クラブの活動)の達成を目指す  
<休日の運動部活動は原則実施しない>

## 令和7年度

- 休日の地域移行の拡充
  - ・ 9 競技休日の地域移行実施  
(水泳 サッカー ラグビー 柔道 剣道  
バド バレー 陸上 卓球) 及び試行
  - ・ 平日の在り方検討
  - ・ 協議会の開催・学校部活動検討
  - ・ 文化部(吹奏楽)の地域連携
  - ・ 3年間の総括とR8以降の計画

### 実施・試行拡充

## 令和6年度

- 計画の見直し
  - ・ ガイドラインの見直し
  - ・ 8 競技休日の地域移行実施  
(水泳 サッカー ラグビー 柔道 剣道  
バド バレー 陸上)
  - ・ 試行競技拡充(卓球 ソフトテニス)
  - ・ 協議会の開催
  - ・ 費用負担の検討
  - ・ 予算要望R7

### 実施・試行

## 令和5年度

- 教育委員会の方針・計画
  - ・ スケジュール作成
  - ・ ガイドラインの作成
  - ・ 学校・競技団体との懇談
  - ・ 先進市町への視察
  - ・ 準備委員会 協議会開催
  - ・ 教員、保護者への周知
  - ・ 予算要望R6
  - ・ 休日の活動 試行開始
  - ・ 先行事例(2競技)の検討

### 準備・試行

進捗状況の情報発信

# R7 年間スケジュール案

キーワード	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>推進体制</b>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     テニス、バスケ、野球の「スポラ教室」実施                 </div>	委託契約 (スポーツ協会)	準備委員会 ①  野球①	バスケ①	生徒アンケート バスケ②  野球②	準備委員会 ② ソフトテニス①  <b>第1回推進協議会</b> HP掲載	吹奏楽懇談会	準備委員会 ③  保護者アンケート	中学校活動参観  小学生向けアンケート		準備委員会 ④	<b>第2回推進協議会</b> HP掲載	R8委託契約準備
	市ガイドライン改訂(国・県 参考に)											
<b>クラブ指導者</b>	コンプラ研修(申込締切5/2)  指導者資格講習受講希望者→補助申請 周知	クラブ名簿作成  <b>コンプラ研修(5/17~7/20)</b>		活動実績①  救命講習案内	謝金支払い①	<b>救命講習①(9/28)</b>		活動実績②	<b>救命講習②(12/6)</b> 謝金支払い②  中体連への申請 (中体連HP)	各クラブ次年度実施計画  活動実績③	活動実績③ (救命講習③ 2/ )	次年度クラブ登録新規指導者申請  活動実績④  謝金支払い③④(4月)
	学校と地域クラブとの情報共有 懇談等											
<b>保護者・生徒・学校</b>	保険加入手続き完了  新入生向け手続き動画・資料  部結成	保険加入手続き→新入生活動開始	新川地区大会  保護者あて減免申請案内	県選手権大会 県民スポーツ大会	北信越・全国大会  学校依頼(協議会の内容等HP)  参加費徴収・案内①		県中学駅伝  新川地区新人大会		参加費徴収・案内②		学校依頼(協議会の内容等HP)  新入生向け地域クラブ(説明会)・資料作成	説明動画配信  R7地域クラブ参加締切(中学生)
	<b>予算・国事業</b>	県との委託契約手続き	国の実行会議(最終とりまとめ)		受益者負担金 支出金概算把握	国の協力者会議(クラブ認定と受益者負担)  R8国概算要求公表	R8予算検討	国事業中間検査 県教委中間報告 資料作成				市予算発表  県教委最終報告 資料作成 事業2月末まで
国ガイドライン改訂												

# R7 推進協議会の計画

	準備委員会 第1回	準備委員会 第2回	推進協議会 第1回	準備委員会 第3回	準備委員会 第4回	推進協議会 第2回
期日	5月下旬	8月中旬(紙上説明)	8月下旬	10月中旬	1月下旬	2月中旬
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域クラブ加入状況(9競技) 学校部活動の加入状況</li> <li>○新推進体制の確認</li> <li>○年間スケジュール協議会等の計画</li> <li>○地域クラブ実施に係る課題と対応</li> <li>○4競技の実施見通し</li> <li>○指導者研修・資格取得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国 今後の方向性</li> <li>◎協議会の案件検討</li> <li>・生徒の加入状況や指導者の状況</li> <li>・課題の整理</li> <li>→協議会に諮る事柄</li> <li>・アンケート結果</li> <li>・4競技の進捗状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎報告事項</li> <li>・生徒加入状況</li> <li>・指導者登録等</li> <li>・アンケート結果</li> <li>・国の動向</li> <li>◎協議事項</li> <li>・実施に係る課題と対応案</li> <li>・4競技の進捗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各クラブの新体制の状況</li> <li>○クラブの改編案</li> <li>○8年度予算</li> <li>○8年度以降の計画</li> <li>・野球</li> <li>・バスケットボール</li> <li>・ソフトテニス</li> <li>・ソフトボール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎協議会の案件検討</li> <li>・7年度の実績</li> <li>・児童生徒・保護者への周知</li> <li>・7年度の成果と課題</li> <li>・8年度以降の活動予定</li> <li>・ガイドラインの見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎報告事項</li> <li>・7年度の実績</li> <li>・児童生徒・保護者への周知方法</li> <li>・説明会の工夫</li> <li>◎協議事項</li> <li>・7年度の成果と課題</li> <li>・8年度以降の推進体制と活動予定</li> <li>・改訂ガイドライン</li> </ul>
備考		生徒アンケート	国…受益者負担の内容・額について提示	保護者アンケート(小学生向けアンケート)	国…改訂ガイドライン	

# 課題1

## 地域クラブの理解 周知

市外のクラブへの参加も  
(ダンス レスリング ウェイト等)

今後の加入者数

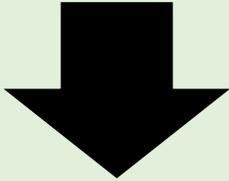


背景

価値観の多様化(児童生徒 保護者)

急激な少子化

スポーツと出会う機会の減(スポ少 部活動) など



全体 R7 118名 ← R6 149名

1 人数不足でチーム編成困難 → 大会参加できない懸念も

2 クラブ員が少 → 切磋琢磨して共に成長する環境は

3 受益者の人数 減少 → 収支構造 将来的に受益者負担増に

競技人口 競技力 将来の指導者

## 対応案

### キーワード…周知 広報の工夫

○3月の保護者説明会だけでは……  
○ホームページもリニューアルしているが……

#### ◎小学生高学年とその保護者を対象とした取組み

例1 **小学生向けアンケート**(アンケートの中で広報活動)

例2 **中学校説明会(2月)**の場などでの説明

児童も保護者も  
…部活動と地域クラブの違い分かっていないのでは

#### ◎中学1年生を対象とした取組み

例3 部活動紹介時に**地域クラブのチラシ**を配布

中学校で  
地域クラブと出会う場を

#### ◎その他

例4 **NiceTV**等の活用

独自にテレビ、雑誌等を  
活用しているクラブも

## 課題2

### 費用負担の在り方について

国の資料参照

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」

「部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進等に関する調査研究協力者会議」

国…事業は継続するだろう が 国の委託金がどうなるか不透明

R8 全競技の地域展開達成予定 平日の活動も今後増 → **予算規模 増大**

#### 持続可能な運営体制

国…適切な受益者負担の内容や金額の目安提示(別紙)

受益者負担金の見直し

保護者への説明・理解

指導者謝金の枠組みの見直し

指導者への説明・理解

スポラとの連携強化

スポラのクラブにある競技 人数バランス

新たな認定制度

R8 予算案